



地域社会との関わり

関連する
主なSDGs



足尾小学校の社会科見学会を実施

足尾さく岩機(株)では、地元の足尾小学校の児童を対象とした社会科見学会を定期的の実施しており、2020年度は、9月に同校3年生7名と先生が同社を訪れました。

当日は同社の製造工程、世界各国への輸出方法、稼働現場などについての説明後、空圧・油圧小型ブレーカの製造ラインを見学してもらいました。また、さく岩機のさく孔力がいかに力強いものであるかを体感してもらいました。児童からは「とても力強くて驚いた」などの感想が寄せられました。同校の松浦校長先生からは、「社会科見学会を機に、まずは地元について知ることが大切だと考えており、地域でのコミュニケーションを活性化することで、児童たちの学びにつなげたい」とのコメントをいただきました。同社では、今後も継続して見学会を実施していきます。



コロナ禍での地域への貢献活動

古河機械金属(株)筑豊出張所では、社有地内にあるブルーベリー園に毎年地元の幼稚園・小竹こども園の園児を招待していますが、新型コロナウイルス感染症対策のためブルーベリー園を閉園しており、この招待も中止していました。また、園では新型コロナウイルス感染症対策として遠足の中止や遊び場施設の閉鎖などの措置がとられていたため、園児たちが屋外へ出る機

会が減っていました。

しかし、幼稚園側からの要請ということもあり、自然と触れあうことにより子供本来の活気を取り戻すことができるのではないかと考え、ブルーベリー園周辺の高台広場を年中・年長の64名の園児に開放しました。

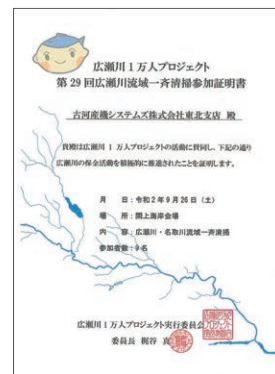
その後、同園からは、園児の笑顔が増えたことのお礼の報告を受けました。当所では今後も、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しつつ地元への貢献の方法を模索していきます。



古河機械金属グループの 清掃ボランティア活動の状況

当社グループ各社では、地域への貢献活動の一環として、清掃ボランティア活動を実施しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、福島県いわき市の薄磯海水浴場清掃活動をはじめ、例年開催されているほとんどの活動が中止となりました。このような状況のなかで、29回目を迎える宮城県仙台市の広瀬川1万人プロジェクト・広瀬川流域一斉清掃活動が実施され、当社グループの古河産機システムズ(株)東北支店から9名が新型コロナウイルス感染症対策を実施して参加しました。

当社グループ各社は、今後も活動が再開され次第、新型コロナウイルス感染症対策を確実に実施しつつ活動に参加していきます。



TOPICS

産業遺産情報センターの「足尾銅山」紹介映像

「足尾銅山」を紹介する映像が、2021年4月に産業遺産情報センターにて公開されました。非鉄金属としては、2020年度に「足尾銅山」が制作対象に選定され、同センターからの要請のもと、当社も映像構成の検討や写真の選定等に協力し、今春、約9分の足尾銅山を紹介する映像が完成しました。映像は13枚のスライドで構成されており、明治期に足尾銅山で暮らす人々や、採鉱・選鉱・製錬・輸送・発電等の工程に分けて解説、公害防止への取り組み、現在につながる技術例などを、当時の写真や現代の写真を大きく映し、ナレーションとともに紹介しています。

同センターは内閣官房の委託を受け一般財団法人産業遺産国民会議が運営しており、2015(平成27)年7月にユネスコ世界遺産委員会において世界文化遺産として登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を中心とした産業遺産に関する情報発信を行っています。明治日本の産業革命遺産だけでなく、産業遺産に関する紹介映像を展示の一部として制作し、リキッド・ギャラクシーという臨場感ある7面の大型ディスプレイを利用したパノラマ映像にて放映しています。



産業遺産情報センターにて公開中の足尾銅山紹介映像